

StarBEDを活用した、人の行動変容に資する超解像度情報をリアルタイムかつ 適応的に生成・配信・提示する人流・交通フォアキャストシミュレーション基盤の構築

研究テーマ

ShonanFutureVerse: 仮想都市未来像にもとづく超解像度バックキャストイングCPS基盤

研究実施機関

株式会社アイ・トランスポート・ラボ

研究の概要

人々が誰でも簡単に都市の「実現したい未来」や「避けたい未来」を具体的な像として作成／共有／相互理解でき、その未来状態実現のために必要な施策とその実施方針をバックキャストで導出でき、それらにのっとった施策の実施とフィードバックループによる現在都市の「未来化」を、IT/AI技術を用いて実現する。

NICT総合テストベッドを
活用した研究成果

- 人口変動予測モデルの学習手法、入力データの多様化等の高度化を行い、人流・交通シミュレーションのシナリオとしてフィードバックし、リアリスティックな交通環境を生成（東大生研豊田研究室）。
- この人口変動予測モデルを用い、仮想空間上での行動データ解析で得られる人の行動メカニズムを交通環境デジタルツインに取り込み、藤沢市・江の島エリアにおける、想定されるイベントや各種交通施策が実施されたときの交通環境を予測するフォアキャスト技術を開発。
- StarBED内でのバッチ処理によるフォアキャストシミュレーション実行基盤の構築に着手し、交通情報や人流・交通シミュレーションデータの配信基盤の構築を進めた。
- これにより、実証実験エリアにおけるメタバース連携を行い、現在都市の「未来化」を目指す。

